



2024年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月10日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 CEO (氏名) ジョン・キム

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 白井 康平

TEL 03-3449-0331

定時株主総会開催予定日 2025年3月19日

配当支払開始予定日 2025年3月21日

有価証券報告書提出予定日 2025年3月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	30,688	23.9	2,363	29.2	2,387	28.4	1,543	28.4
2023年12月期	24,760	12.4	1,828	7.0	1,860	10.0	1,201	2.5

(注) 包括利益 2024年12月期 1,648百万円 (25.8%) 2023年12月期 1,310百万円 (4.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	160.20		11.9	10.0	7.7
2023年12月期	124.72		10.1	9.0	7.4

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 百万円 2023年12月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	26,314	13,634	51.8	1,415.02
2023年12月期	21,351	12,371	57.9	1,283.94

(参考) 自己資本 2024年12月期 13,634百万円 2023年12月期 12,371百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	3,540	3,242	1,335	8,033
2023年12月期	2,722	1,587	567	6,375

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期		20.00		20.00	40.00	385	32.1	3.1
2024年12月期		20.00		30.00	50.00	481	31.2	3.7
2025年12月期(予想)		25.00		25.00	50.00		31.1	

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,860	7.1	2,430	2.8	2,460	3.0	1,550	0.5	160.86

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期	9,644,554 株	2023年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2024年12月期	8,717 株	2023年12月期	8,717 株
期中平均株式数	2024年12月期	9,635,837 株	2023年12月期	9,635,837 株

(参考)個別業績の概要

2024年12月期の個別業績(2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	29,263	24.4	2,397	35.9	2,418	36.1	1,571	36.1
2023年12月期	23,521	11.7	1,763	7.0	1,777	9.1	1,154	2.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	163.07	
2023年12月期	119.86	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	25,843	13,268	51.3	1,377.02
2023年12月期	20,913	12,063	57.7	1,251.96

(参考) 自己資本 2024年12月期 13,268百万円 2023年12月期 12,063百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「経営成績等の概況」をご覧ください。決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(重要な会計上の見積り)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
役員の異動(2025年3月19日付予定)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年1月～12月)における日本国内の経済環境は、人手不足を背景に賃金の伸びが拡大するなど、所得・雇用環境に改善傾向が見られました。一方で、急激な為替相場の変動が農畜産物や人件費、及び天然資源の高騰と重なり、消費者物価指数の前年比上昇率がここ数年2%超えを継続しています。このような背景から、消費マインドへのマイナスの影響が懸念されており、社会全体が依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「“We make people happy.”～アイスクリームを通じて、人々に幸せをお届けします。～」を企業理念に、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンを目指すとともに、企業の継続的成長に努めています。

また、当連結会計年度は、当社グループの長期経営計画(ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大)の4期目にあたります。一昨年、昨年と更新した過去最高売上をさらに上回る成長を達成しました。

- ・当社グループにおける当連結会計年度の売上高が306億88百万円と過去最高を更新。
- ・国内総小売売上高が616億15百万円と過去最高を更新。
- ・一店舗当たりの小売売上高が59百万円と過去最高を更新。
- ・40ヶ月連続、既存店売上高増を更新。
- ・月間最高小売売上高を12ヶ月中10ヶ月を記録。

引き続き、先ずお客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理の徹底として工場・店舗における感染防止に取り組むとともに、当社グループの長期経営計画(ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大)を推進、これまでに成功した施策は継続・強化し、さらに新たな施策を実行してまいります。

<ブランドパワー強化>

ブランドパワー強化として、お客様のデマンドに合わせたマーケティング、サーティワンらしいプロモーションを展開しました。具体的には、毎月の「新作フレーバー」として専門店ならではの魅力的なアイスクリームを発売し、選ぶ楽しさを提供するとともに、商品ラインナップを強化しました。また、お子様を対象にした「サーティワンパスポート」のリニューアル、若年層を中心に話題となった「よくばりフェス」、サーティワンでしか味わえないスペシャルなシェイクの「グランドシェイク」も発売しました。コラボレーションにおいては、お客様から高い評価を受けている「スーパーマリオ」や「ポケットモンスター」、そして幅広い世代に人気の「名探偵コナン」や「ゴディバ」との初のコラボレーション実現にも成功しました。更に、アイスクリームケーキの新カテゴリー「31パティスリー」を販売開始し、イノベーティブな商品開発によるスイーツ市場でのシェア獲得を目指します。

新店舗デザインでは「F1(Flavor1st)」、「MOMENTS」の導入による店舗イメージの刷新を進めるため、195店舗で全面改装を完了し、新店舗を含む新デザイン導入店舗数を780店舗(ToGo店舗を含む)に拡大しました。今後、オペレーションの改善強化とともに、更なる店舗体験価値の向上だけでなく、ブランド価値の向上、従業員モチベーションアップを図ります。

<デジタル化>

予約受付も取り入れたモバイルオーダーを推進することで、お客様の利便性向上に努めています。また、コミュニケーションツールの会員制アプリ「31Club」の会員数が、903万人を超えました。会員の購入額は売上全体の38%を占めており、購入額は会員でない方に比べ29%多くなっています。デジタルサイネージ導入をはじめとする、デジタル技術を活用した店舗オペレーションの簡素化にも一層の取り組みを進めます。

<スマート31>

スマート31施策として、サプライチェーン・マネジメントの最適化で昨今のコスト上昇を抑制し、お客様がお買い求めになりやすい価格での提供に努めています。当社の組織に関しては、引き続きリモートによる就業やペーパーレス、従業員福利厚生 の 拡 充 な ど 働 き 方 改 革 に よ る 最 適 化 を 行 っ て い ま す 。 ま た 、 オ フ ィ ス や 生 産 工 場 、 そ し て

店舗でも、エネルギーの効率的な使用に努めております。また、2工場における食品残渣の削減、電気使用量の削減も図っております。

<販売拠点拡大>

店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、ユーザーのデマンドに沿って、商業施設内、ロードサイド、ビジネス街、駅前、繁華街など、様々なロケーションでの展開を実施しています。立地や利用シーンの多様化に着目した持ち帰り専門店「ToGo店舗」は、現在、主要都市を中心に23店舗出店しております。その結果、当期末国内店舗数は1,045店舗と前期末に比べ21店舗の純増となっております。また、大学の学生食堂や社員食堂、野球場や行楽地、サービスエリアや空港・駅への出店など、消費者の購入機会を増やすよう積極的に取り組んだ結果、当期末の国内ポーショナック販売等拠点（通常店舗と異なる販売拠点）数は396ヶ所となりました。さらに台湾・ハワイで当社が運営する海外店舗数は33店舗と前期末に比べ8店舗の純増となっております。これにより、国内外合わせて当期末の当社総販売拠点数は1,474ヶ所と前期末と比べ95ヶ所増加となり、今後さらに店舗数を拡大するとともに、各市場において事業拡大を図ってまいります。

当社グループにおける当連結会計年度の売上高は、小売売上高の伸長に牽引され、過去最高の306億88百万円（前期比123.9%）となりました。小売売上高も長期経営計画の4本の柱を中心にお客様から高い人気を誇るキャラクターとのコラボレーションの実現やデマンド戦略に沿ったプロモーションの実施により、来店客数が増加し計画を上回り、過去最高を記録しました。

売上原価は155億75百万円（前期比125.8%）となりました。原料費の高騰並びに円安の影響に伴う売上原価の増加がありましたが、サプライヤーと協働して品質を保ちつつ原料調達コストを抑制したことと、工場での製造管理の最適化や生産スピード向上による製造原価低減を進めたことにより、前期と比較して2億円ほどのコスト増に留めることが出来ました。その結果、売上伸長に比べて売上原価の抑制が図られ、売上総利益は151億12百万円（前期比122.1%）となりました。

販売費及び一般管理費については、新作フレーバーの告知強化を行ったことや、積極的なデジタル広告の出稿、売上が増加したことによる物流費等の販売費の増加、販売拠点拡大のための活動費の増加などにより、前期と比べて22億円増加の127億49百万円となりましたが、小売売上高及び当社の卸売上高を伸ばすことが出来たことにより販管費率を減少することが出来、営業利益率を押し上げることが出来ました。

以上の結果、営業利益は23億63百万円（前期比129.2%）となりました。これは、外的要因とビジネス成長に伴うコスト上昇を加味した連結業績予想を上回るものです。

また、経常利益は23億87百万円（前期比128.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益は15億43百万円（前期比128.4%）となりました。

なお、当社グループはアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末に比べ49億63百万円増加の263億14百万円となりました。これは主に、現金及び預金(16億58百万円)、売掛金(11億4百万円)及び建設仮勘定(15億71百万円)の増加があったことによるものであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ37億円増加の126億79百万円となりました。これは主に、長期借入金(17億19百万円)及び未払金(12億98百万円)の増加があったことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ12億63百万円増加の136億34百万円となりました。これは主に、利益剰余金(11億58百万円)の増加があったことによるものであります。

この結果、1株当たり純資産は1,415円02銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は80億33百万円となり、期首残高からの増加額は16億58百万円でありました。

営業活動から得られた資金は、35億40百万円(前期は27億22百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益22億95百万円、減価償却費が11億98百万円あったことによるものです。

投資活動に使用した資金は、32億42百万円(前期は15億87百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が28億93百万円、敷金及び保証金の預け入れによる支出が2億50百万円あったことによるものです。

財務活動に得られた資金は、13億35百万円(前期は5億67百万円の使用)となりました。これは主に、長期の借入れによる収入が20億円、配当金の支払いが3億84百万円あったことによるものです。

(4) 今後の見通し

長期経営計画における4つの柱(①ブランドパワー強化、②デジタル化、③スマート31、④販売拠点拡大)を更に推進させることで、更なる成長を目指していきます。

ブランドパワー強化では、商品ラインナップや購入機会といったお客様の多様なニーズに合わせた商品開発やキャンペーンを展開していくほか、人気キャラクターなどのコンテンツとのコラボレーションなど、お客様の店舗体験価値を向上させていきます。既存店に関しては、適切なビルド&スクラップやリロケーションを実施していくとともに、引き続き80店を超える規模の全面改装を実施していきます。

デジタル化では、モバイルオーダーの一層の活用と、会員制アプリ「31Club」やSNSでの発信を強化し、お客様の利便性向上を図っていきます。

スマート31では、サプライチェーン最適化による生産性の向上や原料アップの抑制に取り組むほか、店舗においてもPOPや包装材料等の最適化に取り組んでまいります。

販売拠点拡大では、ショッピングセンターへの新規出店を継続しつつ、「ToGo店舗」の出店、ポーションカップ拠点の拡大によりお客様のブランドタッチポイントを増やしていきます。

弊社を取り巻く外部環境に関しては、世界的なインフレーションに端を発した原材料価格の上昇、エネルギーコストの高騰は継続するものと考えられ、コストプレッシャーは昨年以上に厳しい状況になると想定しております。

このような状況の中、現時点における2025年12月期(2025年1月1日から2025年12月31日)の連結業績の見通しにつきましては、売上高328億60百万円、営業利益24億30百万円、経常利益24億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益15億50百万円を見込んでいます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針です。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,375,448	8,033,572
売掛金	1,700,272	2,804,593
製品	1,375,234	1,533,555
原材料	608,539	682,046
貯蔵品	547,348	616,263
前払費用	312,414	432,624
未収入金	883,220	268,305
未収消費税等	—	17,265
その他	186,319	160,060
流動資産合計	11,988,798	14,548,287
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,256,240	4,264,897
減価償却累計額	△2,411,539	△2,562,722
建物(純額)	1,844,701	1,702,174
構築物	444,950	444,950
減価償却累計額	△307,288	△323,802
構築物(純額)	137,661	121,148
機械及び装置	4,283,010	4,509,726
減価償却累計額	△3,690,814	△3,872,236
機械及び装置(純額)	592,196	637,489
賃貸店舗用設備	4,391,190	4,368,771
減価償却累計額	△2,477,660	△2,252,334
賃貸店舗用設備(純額)	1,913,530	2,116,436
直営店舗用設備	779,039	1,346,754
減価償却累計額	△165,234	△251,849
直営店舗用設備(純額)	613,805	1,094,905
車両運搬具	63,713	94,049
減価償却累計額	△45,154	△43,394
車両運搬具(純額)	18,559	50,655
工具、器具及び備品	741,165	750,475
減価償却累計額	△641,147	△662,687
工具、器具及び備品(純額)	100,017	87,788
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	54,896	1,626,539
有形固定資産合計	5,970,732	8,132,499
無形固定資産		
のれん	205,133	208,375
その他	460,168	509,611
無形固定資産合計	665,302	717,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
投資その他の資産		
破産更生債権等	15,526	583
長期前払費用	220,426	190,215
繰延税金資産	194,494	206,490
敷金及び保証金	2,178,330	2,363,933
その他	130,972	155,090
貸倒引当金	△13,438	△291
投資その他の資産合計	2,726,312	2,916,022
固定資産合計	9,362,347	11,766,509
資産合計	21,351,145	26,314,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	842,363	837,975
1年内返済予定の長期借入金	230,012	430,016
未払金	2,994,177	4,292,380
未払法人税等	368,463	528,193
未払消費税等	47,949	—
契約負債	1,867,870	2,075,621
預り金	194,404	256,107
賞与引当金	67,103	67,910
役員賞与引当金	78,800	88,300
資産除去債務	—	2,956
その他	130,259	133,550
流動負債合計	6,821,403	8,713,011
固定負債		
長期借入金	514,070	2,034,053
退職給付に係る負債	72,407	81,249
役員退職慰労引当金	41,900	63,400
資産除去債務	164,865	194,099
長期預り保証金	1,325,962	1,551,847
繰延税金負債	38,708	42,201
固定負債合計	2,157,914	3,966,850
負債合計	8,979,317	12,679,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金	241,079	241,079
利益剰余金	11,255,092	12,413,299
自己株式	△17,519	△17,519
株主資本合計	12,213,938	13,372,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	802	7,923
繰延ヘッジ損益	—	12,055
為替換算調整勘定	157,086	242,810
その他の包括利益累計額合計	157,888	262,788
純資産合計	12,371,827	13,634,934
負債純資産合計	21,351,145	26,314,796

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	24,760,592	30,688,195
売上原価	12,382,673	15,575,218
売上総利益	12,377,919	15,112,977
販売費及び一般管理費	10,548,930	12,749,077
営業利益	1,828,988	2,363,899
営業外収益		
受取利息	137	144
為替差益	10,858	43,442
受取ロイヤリティー	38,056	30,660
受取報奨金	16,072	6,563
その他	9,693	4,894
営業外収益合計	74,818	85,705
営業外費用		
支払利息	9,374	11,958
店舗設備除去損	34,234	48,460
その他	134	1,580
営業外費用合計	43,744	61,999
経常利益	1,860,062	2,387,605
特別利益		
固定資産売却益	4,920	15,568
特別利益合計	4,920	15,568
特別損失		
固定資産廃棄損	25,540	108,017
特別損失合計	25,540	108,017
税金等調整前当期純利益	1,839,442	2,295,156
法人税、住民税及び事業税	577,137	771,974
法人税等調整額	60,515	△20,459
法人税等合計	637,653	751,515
当期純利益	1,201,789	1,543,640
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,201,789	1,543,640
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,382	7,120
繰延ヘッジ損益	60,710	12,055
為替換算調整勘定	44,851	85,724
その他の包括利益合計	108,944	104,899
包括利益	1,310,733	1,648,540
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,310,733	1,648,540
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	735,286	241,079	10,390,557	△17,519	11,349,403
当期変動額					
剰余金の配当			△337,254		△337,254
親会社株主に帰属する当期純利益			1,201,789		1,201,789
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	864,535	—	864,535
当期末残高	735,286	241,079	11,255,092	△17,519	12,213,938

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	△2,579	△60,710	112,234	48,944	11,398,347
当期変動額					
剰余金の配当					△337,254
親会社株主に帰属する当期純利益					1,201,789
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,382	60,710	44,851	108,944	108,944
当期変動額合計	3,382	60,710	44,851	108,944	973,479
当期末残高	802	—	157,086	157,888	12,371,827

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	735,286	241,079	11,255,092	△17,519	12,213,938
当期変動額					
剰余金の配当			△385,433		△385,433
親会社株主に帰属する当期純利益			1,543,640		1,543,640
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,158,207	—	1,158,207
当期末残高	735,286	241,079	12,413,299	△17,519	13,372,145

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	802	—	157,086	157,888	12,371,827
当期変動額					
剰余金の配当					△385,433
親会社株主に帰属する当期純利益					1,543,640
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,120	12,055	85,724	104,899	104,899
当期変動額合計	7,120	12,055	85,724	104,899	1,263,107
当期末残高	7,923	12,055	242,810	262,788	13,634,934

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,839,442	2,295,156
減価償却費	1,447,363	1,198,124
のれん償却額	18,296	20,405
長期前払費用償却額	—	173,342
店舗設備除去損	34,234	48,460
固定資産売却益	△4,920	△15,568
固定資産廃棄損	25,540	108,017
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,837	△13,146
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△369	806
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,613	8,841
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△17,700	21,500
受取利息	△137	△144
支払利息	9,374	11,958
売上債権の増減額 (△は増加)	151,242	△1,098,525
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	11,973	14,943
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△701,969	△276,066
仕入債務の増減額 (△は減少)	185,231	△5,422
未収入金の増減額 (△は増加)	△250,638	614,915
前渡金の増減額 (△は増加)	19,824	△40,479
前払費用の増減額 (△は増加)	△9,997	△75,640
未払金の増減額 (△は減少)	86,056	910,327
契約負債の増減額 (△は減少)	210,160	207,750
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,600	9,500
預り金の増減額 (△は減少)	△10,579	61,703
未払又は未収消費税等の増減額	93,031	△65,214
その他	58,394	64,245
小計	3,227,002	4,179,791
利息及び配当金の受取額	1,771	1,528
利息の支払額	△9,470	△13,160
法人税等の支払額	△497,203	△627,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,722,100	3,540,288
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,410	△3,535
有形固定資産の取得による支出	△1,215,139	△2,893,970
無形固定資産の取得による支出	△281,456	△191,090
長期前払費用の取得による支出	△81,879	△143,131
敷金及び保証金の差入による支出	△111,220	△250,886
敷金及び保証金の回収による収入	45,104	57,028
長期預り保証金の受入による収入	131,376	297,625
長期預り保証金の返還による支出	△62,017	△114,249
その他	△9,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,587,644	△3,242,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△230,012	△280,013
配当金の支払額	△337,054	△384,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	△567,066	1,335,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,922	25,029
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	578,312	1,658,124
現金及び現金同等物の期首残高	5,797,136	6,375,448
現金及び現金同等物の期末残高	6,375,448	8,033,572

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

販売済未使用ギフト券の退職益に係る収益認識

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

	前連結会計年度	当連結会計年度
販売済み未使用ギフト券収入(千円)	303,835	365,044

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する理解に資する情報

当社は、アイスクリームギフト券を自社発行しており、顧客へのギフト券の販売時に前受金（連結貸借対照表の「契約負債」）を計上し、顧客によるギフト券の使用時に収益を認識しております。一方、販売済未使用ギフト券については、アイスクリームギフト券の非行使割合を見積り、アイスクリームギフト券の権利行使パターンと比例的になるよう一定期間にわたり収益を認識しております。そのため、アイスクリームギフト券の非行使割合の見積りが主要な仮定であり、アイスクリームギフト券の過去の行使割合を種別毎及び発行月毎に算出し、過去のギフト券使用実績の推移及び変動要因を考慮し、非行使割合を見積っております。

(3) 翌連結会計年度の連結財務諸表に与える影響

アイスクリームギフト券の非行使割合の見積りは最善の見積りを前提にしておりますが、アイスクリームギフト券の非行使割合の実績が見積りと異なる場合、翌連結会計年度の連結財務諸表に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	1,283.94円	1,415.02円
1株当たり当期純利益	124.72円	160.20円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,201,789	1,543,640
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,201,789	1,543,640
普通株式の期中平均株式数(株)	9,635,837	9,635,837

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年12月31日)	当連結会計年度末 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	12,371,827	13,634,934
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,371,827	13,634,934
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	9,635,837	9,635,837

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動(2025年3月19日付予定)

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

新任取締役候補

取締役(社外取締役) 瓜生 徹 (現 株式会社不二家 専務取締役洋菓子事業本部長 兼 菓子事業本部担当 兼 購買担当 兼 Eコマース担当)

退任予定取締役

取締役(社外取締役) 恩田 友紀子